



レポート

移行ツールは、データ移行中のエクスポート、インポート、およびポリシーギャップ分析のレポートを生成します。移行ツールディレクトリのレポートフォルダには、次のファイルが格納されています。

- import_report.txt
- export_report.txt
- policy_gap_report.txt
- [エクスポートレポート \(1 ページ\)](#)
- [ポリシーギャップ分析レポート \(2 ページ\)](#)
- [インポートレポート \(3 ページ\)](#)

エクスポートレポート

このレポートは、Cisco Secure ACS データベースのデータをエクスポートするときに発生した特定の情報またはエラーを示します。レポートの最後にはデータ分析のセクションがあり、Cisco Secure ACS と Cisco ISE 間の機能ギャップについて記載されます。エクスポートレポートには、エクスポートされたがインポートされないオブジェクトのエラー情報が含まれます。

表 1: Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool のエクスポート レポート

レポートタイプ	メッセージタイプ	メッセージの説明
エクスポート (Export)	Success	正常にエクスポートされたデータ オブジェクトの名前が示されます。
	情報	Cisco ISE で事前定義されているためエクスポートされないデータ オブジェクトが示されます。
	警告	エクスポートされたデータ オブジェクトが示されますが、移行後に Cisco ISE で追加の設定が必要な場合があります。 移行ツールによって命名変換が行われたデータ オブジェクトが示されます。
	エラー (Error)	Cisco ISE でサポートされていない設定済みの名前または属性タイプの制限のためにエクスポートされないデータ オブジェクトが示されます。 Cisco ISE でサポートされていないためエクスポートされないデータ オブジェクトが示されます。

ポリシーギャップ分析レポート

このレポートには、Cisco Secure ACS と Cisco ISE 間のポリシーギャップに関する情報が一覧されます。このレポートは、エクスポートプロセスの完了後に、移行ツールのユーザーインターフェイスで[ポリシーギャップ分析レポート (Policy Gap Analysis Report)] ボタンをクリックすることで利用できます。

エクスポートフェーズ中に、移行ツールは、認証および許可ポリシーのギャップを識別します。いずれかのポリシーが移行されなかった場合、そのポリシーがポリシーギャップ分析レポートに記載されます。レポートには、ポリシーに関連する矛盾したルールおよび条件がすべて記載されます。また、移行できなかったデータ、および手動で対応した理由についても記載されます。

条件の中には、Cisco ISE の用語を使用して自動的に移行できるものがあります。たとえば、「Device Type In」と名付けられた条件は「Device Type Equals」として移行されます。条件がサポートされている場合、または自動変換可能な場合、その条件はレポートには記載されません。条件が「Not Supported」または「Partially supported」として検出された場合、ポリシーはインポートされずに、条件がレポートに記載されます。移行の実施管理者は、責任を持って条件の修正または削除を行う必要があります。それらが修正または削除されない場合、ポリシーは Cisco ISE へ移行されません。



- (注) データをエクスポートした後、エクスポートレポートとポリシーギャップレポートを分析し、ACS 設定にリストされたエラーを修正し、警告およびその他の問題に対処する必要があります。エラーまたは警告に対処した後、再度エクスポートプロセスを実行します。Cisco Secure ACS からのデータのエクスポートについては、[Cisco Secure ACS からのデータのエクスポート](#)を参照してください。

インポート レポート

このレポートは、Cisco ISE アプライアンスヘデータをインポートするときに発生した特定の情報またはエラーを示します。

表 2: Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool のインポート レポート

レポートタイプ	メッセージタイプ	メッセージの説明
インポート (Import)	情報	正常にインポートされたデータ オブジェクトの名前が示されます。
	警告	インポートされたデータ オブジェクトが示されますが、移行後に Cisco ISE で追加の設定が必要な場合があります。 既存の Cisco ISE インストールで移行が実行された場合、Cisco ISE にすでに存在するデータ オブジェクトが示されます。
	エラー (Error)	以下の理由により、データオブジェクトはインポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco ISE にデータ オブジェクトをインポートする際に予期しないエラーが発生した

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。